

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話 (521) 8494

通算来館者

97600名越える

年内10万人まで

あと2319名!!

主張

この一年に果した業績を 感謝をもってふりかえる

いま、一九七八年が静かに暮れようとしています。

この一年は、展示館がオープンしてから二年の歳月が流れ、すべての面で展示館が確立した年だったと申せましょう。

展示館の存在は、公けの地図はもとより、市販のものにまで明確にのせられるようになり、ある新聞記者は、皮肉まじりに、「もう展示館の存在だけではニュースにならない。」と言いました。

最近の十一月だけでも団体の見学が三〇を数え、入場者の開館いらいの総数は九七六八一名となりました。

このように展示館がますます大衆的に利用されている実情をふまえ、協会は展示物の増加、展示方法の改善など、いっそうの努力を続けて参りましたが、正月の凧あげ大会をはじめ一般

都民へのPRにも、いささかの努力を致してきました。この便りなどもその一環です。

また、協会は「ビキニ事件と福竜丸を知る集い」を継続的に開催してきているほか、三・一ビキニデーや九・二三久保山愛吉氏記念日を独自の集会や行事をもって迎えています。さらに八月には原水爆禁止運動への協力も欠かしていません。

そうした一年を静かにふり返ってみると、協会としては実力以上の仕事をしてきたことが分

りますが、それはひとえに協会を支えてくださったっている多くの方がたのお力によるものと感謝しています。

一九七八年を送るに当って、私どもは、単に第五福竜丸展示館の運営に力を入れるのみではなく、核兵器の完全禁止をめざして、日本国民の圧倒的大衆が抱いている原水爆禁止核兵器廃絶の考え方を、ますます固いものとするために、とくに若い人びとにたいする啓蒙、宣伝に努力することを決意しました。

内に湧きあがる行動への熱情をひめて、いま、静かに実り多かつた年を送ろうとしています。みなさんの変らぬご支援を

'79 新春凧あげ大会

一月十四日(日) 午前十一時

夢の島公園多目的コロシウム

参加費・無料

凧のコンクール(参加自由)

優秀なものに賞状・賞品・全参加者に記念品贈呈

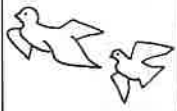
主催 (財) 第五福竜丸平和協会

後援 東京都・江東区役所



物珍らしい施設から

都民に愛される展示館へ



十一月末での来館者が開館以来の通算で九七六〇〇名となりこの年末で十万を越すかどうか大きな関心になっている或る日、展示館の従業員のひとり

乗った個人タクシーの運転手さんから、深川にいるのなら夢の島に行き、第五福竜丸を見てきなさいと勧められて面喰ったという報告がありました。

第三一回理事会

三・一までの方針討議

平和協会第三一回理事会は11月21日、神田・学士会館でひらかれましたが、11月29日夜の協会創立五周年記念夕食会をはじめ年末の行動、新年の凧あげ大会から三・一ビキニデーまで、当面の方針が討議されました。とくに、三・一ビキニデー記念には写真・絵画の展覧会をひらくことが合意されましたが、会場もち方などについては結論が出ず、他団体の動きなどを参りに、後日決定することとなり

ました。なお、原水爆資料館建設については、土地の取得問題が片付かず、多少おくらせていますが、やはり当初の企画どおり対都交渉を推進することに意見の一致をみました。(目下、この線に沿って努力されています。)

この理事会の決定により福竜丸だよりの正月号は八頁建てとし、名刺広告を各方面にお願いしてご協力を頂くこととなりました。

編集後記

十一月には展示館のなかに飾ってある資料の展示替えが行われました。ビキニ島の近況を伝える土井金二郎さんの貴重な写真などが新たにあらわれ、若干の展示物の入れ替えが行われケースなどもふえました。

その展示替えで、一ばん気を使ったのは、ただ資料を多くならべることではなく、展示されたものが、見る人によく理解してもらえらるかでした。そのため説明板をほとんど全部、写植にし、漢字には振り仮名をつけて、小学生にも読めるよう

にしたことです。

▽この福竜丸だよりも、どうしたら読みやすく、いろいろなことが分ってもらえるかに、一ばん気を配っています。ご覧になる方は、なんだ、こんなものどペラペラとみて、投げすてられるかも知れませんが、編集陣としては一生けん命なのです。

▽ともあれ、この福竜丸だよりも九号を迎え、やっと定着することができました。三号ぐらいで終りかと心配された向きもあつたようですが、何とか生きのび、成長しています。ひとえに多くの方のご協力と感謝していただきますが、未永くご愛読くださることを祈っています。(H)

平和協会一年のあゆみ



- 一月二三日 第二六回理事会
正午より、神田・学士会館で
一月一五日 第六回新春凧上げ
大会
午前十一時より夢の島で、好
天に恵まれ二八〇人が参加。
二月八日 第八回ビキニ事件と
福竜丸を知る集い
神田・労音会館で、初のパネ
ル・ディスカッション。
三月一日 ビキニデー記念の夕
午後六時から八重洲・国労会
館ホールで、約三百人参加。
三月二四日 第二七回理事会
正午より、神田・学士会館で。
三月二九日 第九回ビキニ事件
と福竜丸を知る集い
午後六時より、本多喜美氏を
講師に港区勤労福祉会館で。
四月一五日 「福竜丸だより」
創刊第一号
四月一七日 三宅泰雄会長古稀
祝賀会
午後六時より、日比谷・松本
楼で。
五月六日 展示館通算来館者七
万人突破
五月一五日 「福竜丸だより」
第二号
五月二三日 平和協会役員知事
室訪問
三宅会長、広田専務、田沼理
事が美濃部都知事と懇談。
五月二五日 第一〇回ビキニ事
件と福竜丸を知る集い
午後六時より、畑田重夫氏を
講師に、港区勤労福祉会館で。
六月一〇日 開館二周年見学と
懇談の集い
午後二時より、展示館で、五
団体代表・個人二〇名が参加。
「七八年都立第五福竜丸展示
館管理レポート」発行。
六月一五日 「福竜丸だより」
第三号
七月一五日 「福竜丸だより」
第四号
七月一九日 第二九回理事会
正午より、本郷・学士会館別
館で。
七月二二日 第一一回ビキニ事
件と福竜丸を知る集い
午後六時より、服部学氏を講
師に亀戸集會場で。
八月一・二日 78世界大会東京
国際会議
広田重道専務理事が出席。
八月五・六日 78世界大会広島
大会
鹿田敏彦事務局長が出席。
八月一五日 「福竜丸だより」
第五号
九月七日 原水爆資料館建設懇
談会
午後二時より、神田・学士会
館で。
九月一五日 「福竜丸だより」
第六号
九月二三日 九・二三追悼記念
集会
午前十一時より、展示館まえ
広場で、約百名が参加。
九月二九日 第三〇回理事会
午後一時より、神田・学士会
館で。
一〇月七日 展示館通算来館者
九万人突破
一〇月一五日 「福竜丸だより」
第七号
一〇月一八日 第一二回ビキニ
事件と福竜丸を知る集い
午後六時より、土井全二郎氏
を講師に神田・教育会館で。
一〇月二四・三〇日 「原爆記
録展」
都庁第三庁舎で東京都が主催。
平和協会からビキニ関係写真
パネルを提供。
一〇月三一日 原水爆資料館建
設第二回懇談会
午後二時より、神田・学士会
館で。
十一月一五日 「福竜丸だより」
第八号
十一月二二日 第三一回理事会
正午より、神田・学士会館で。
十一月二九日 平和協会創立五
周年記念夕食会
午後六時より、神田・学士会
館で。

協会創立五周年記念夕食会

出席者もども来年に期待
— ビキニ被災二五周年に —



十一月二九日夜、神田・学士
会館でひらかれた協会創立五周

年祝賀夕食会には、協会役員
のほか平野義太郎、榎田ふぎ、小
野周、岩垂弘、吉田嘉清、猿橋
勝子、三井周二、斉藤鶴子、浅
見善吉の各氏ら十五名が参加し、
家庭的なふん囲気でした。
会は田沼理事の司会で進めら
れ、三宅会長の挨拶・広田専務
理事の報告につづいて出席者全
員から発言がありました。
ご意見のなかでは、来年はビ
キニ被災25周年に当るので、啓
蒙、宣伝のために、独創的な催
し物や集会など計画せよとのご
要望が圧倒的でした。
また、今までできなかった
科学者のビキニ事件のころの体
験なども語られ、時のたつのも
忘れる和やかな集りでした。
協会としては、このような重
要なご意見を生かしたいとの態
度表明があり、散会しました。



来館者の 声から



私は今、中学校で社会科の教
師として政治単元を教えていま
す。
憲法の三原則は、義務教育を
卒業する中学生すべてにわかっ
て欲しいと思います。そして、
いづれ(三学期の末)「平和主
義」の授業のなかで、「戦争は
二度とおこしてはならない」「
核兵器に反対していかなくては
ならない」ということを生徒に
訴えるところにも、考えさせるつ
もりです。
ところが、私には戦争体験も
なく、生徒に説得力をもって話
ができるか否か自信がないので
す。
そこで、この展示館に来るた
びに私は私なりの立場で平和教
育をしていかななくてはならない
と痛感するのです。
今日で三回目です。また来年

も来るかも知れません。できれ
ば生徒をつれて訪れたいと思っ
ています。
平和教育をするうえで、身近
に「第五福竜丸展示館」がある
ことは力づけられる思いです。
今後とも、新しい資料等をそ
ろえていただきたいと思えます。
私は私の立場なりに頑張るつ
もりです。
今後の平和教育のさらなる発
展を、
中学校教師 25才
無記名